

子どもたちに身につけてほしい“判断する力”

現代社会では、情報があふれ、選択肢も多様になっています。それだけに、自分で判断する力がますます重要になっています。

学校教育では、単に知識を身につけるだけでなく、正しい情報かどうかを見極め、自分で考えて選ぶ力を育てることを目指しています。授業中の問いかけや話し合いの場面は、その力を育てる絶好の機会です。

子どもたちは、友達の意見を聞き、比較し、納得できる答えを探す過程を通して、判断力を磨いていきます。また、生活の場面でも“自分の行動を決める”経験が多くあります。困ったときどうするか、誰に相談するか、どの行動が正しいかを考える機会は日常にあふれています。

大人が先回りして結論を与えてしまうのではなく、子ども自身が選び取る経験を重ねられるよう、支える姿勢が求められます。判断する力は、これからの人生で確かな支えとなる力です。

出前授業4年

6/9

4年生を対象に、あま市環境衛生課の職員の方を講師としてお招きし、「ごみの分別と出し方のルール」について学ぶ出前授業を行いました。授業では、あま市のごみに関するクイズに挑戦しながら、ごみ処理の仕組みや分別の大切さについて楽しく学びました。また、実際のサンプルを使って、ごみを正しく分別し、出し方を考える体験活動にも取り組みました。子どもたちは、「これはどのごみに入るのかな」と友達と相談しながら、意欲的に活動していました。さらに、「リデュース」「リユース」「リサイクル」「リフューズ」からなる4R運動についても学び、ごみを減らすために自分たちにできることを考えるよい機会となりました。今回の学習を通して、環境を守るためには一人一人の心掛けが大切であることを実感し、日常生活を見直すきっかけとなりました。



出前授業5・6年

6/17

5・6年生を対象に、「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」の出張授業を実施しました。ユニクロ・ジーユーの社員の方を講師としてお迎えし、SDGsや衣服のリサイクルについて学びました。授業では、服が私たちの生活に果たす役割や、不要になった服が世界各地でどのように活用されているのかについて、写真や映像を交えながら分かりやすく説明していただきました。また、服を回収して再利用することの大切さや、身近なところからできる社会貢献についても学ぶことができました。子どもたちは、普段何気なく着ている服が人々の暮らしを支える大きな力を持っていることを知り、環境や社会のために自分たちにできることを考える貴重な機会となりました。



起震車体験

6/18

あま市役所危機管理課の皆様をお招きし、起震車を活用した防災学習を行いました。地震発生時に自分の命を守るための行動や、落ち着いて避難するためのポイントについて分かりやすく教えていただきました。その後、地震体験車「なます号」に乗り込み、実際の地震を再現した揺れを体感しました。体験では、大きな揺れが再現され、子どもたちは立っていることの難しさや、身の安全を確保することの大切さを実感していました。教室で学ぶだけでは分からない地震の恐ろしさを肌で感じることができ、防災への意識を高める貴重な機会となりました。今回学んだことを生かし、いざという時に自分自身で適切な行動がとれるよう、今後も防災について考えていきたいと思います。

